

株主の皆様へ

第23期報告書

2015年10月1日～2016年9月30日

証券コード：3814

企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「 α 」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様と共に、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



外食チェーン情報システム「ソフト」から「ハード」までの主要3事業

ASPサービス事業

外食企業様に対して、売上分析・経営指標・在庫ロス分析・勤怠シフト管理・受発注・C K物流・財務連動システムまでの各基幹業務システムをご提供しています。

外食企業様の本部系基幹業務の精度を高めるために必要な店舗システム機器である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社開発を行なっています。

システム機器事業

周辺サービス事業

外食企業様向け「ワンストップサービス」の一環として、外食関連の広範囲なWEBサービスのご提供や、システム機器などの保守・メンテナンスを行なっています。

アルファクス・フード・システムは、創業以来一貫して、食材／人件費ロス管理を中心とした、経営コストのロスを徹底追求することのできる「基幹業務システム・サービス」の提供を行なっています。

そして、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しております。

株主の皆様へ



代表取締役社長

田村隆盛

**「飲食店経営管理システム®」の本格投入、
拡張機能「自動発注システム」リリース等の施策により、
前年比208.5%の経常利益を達成いたしました。**

**これからも外食専門のシステム会社として、当社ならではの
お客様に最大利益と感動をもたらす新製品・新サービスを提供し続けます。**

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今期当社は、前年からの重点方針である「原点回帰」3ヶ年計画の2年目として、上場前後の高収益体質に戻すべく政策を1年目より増して実施してまいりました。

これまでの主力としているASP型基幹業務サービスに加え、高粗利の外食業界専用パッケージソフトウェアである「飲食店経営管理システム®」シリーズ製品群の発売も2年目となり、2016年2月からは、20年前に世界初として絶賛された「自動発注システム」もリリースしております。

平成28年9月期におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景として、企業収益にある一定の改善傾向が見られたものの、中国の景気減速懸念や、英国のEU離脱を巡る問題など、不安定な要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社の主要販売先である外食市場におきましては、根強い節約志向による個人消費の伸び悩みや、食材価格の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向などにより、当社の事業領域において、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は外食チェーンを中心に、従来からのASP/クラウド型サービスを核とした、トータルソリューションシステムを提供してまいりました。

また、2015年7月からは、パッケージ型の基幹業務システムである「飲食店経営管理システム®」をリリースし、規模に関係なく、外食のあらゆる業態店舗、中食である仕出し、弁当業及び給食事業者にご利用いただけるシステムの販売を開始しております。

その結果、当社主力の「ASP基幹業務サービス事業」におきましては、「飲食店経営管理システム®」との併用販売を徹底し、運用レベルの品質を上げ、外食企業様の月額報酬も、緩やかながら上昇に転じております。今期も引き続き、販売好調の続く、「飲食店経営管理システム®」を中心に、主力のASP基幹業務サービスの拡大を目指してまいりたいと存じます。

外食業界を取り巻く環境は、人材不足、食材の高騰など、年々厳しさを増しておりますが、今期本格的に市場投入いたしました、「自動発注システム」は、この環境の解決に不可欠な比類無いシステムであり、当社としてのサービスは拡大傾向にあります。

今後は、粗利益の高い、「飲食店経営管理システム®」の代理店販売を本格化させ、市場シェアの更なる拡大と収益率の拡大に努めてまいります。

当社は、国内で唯一、「店舗情報システム機器」と「本部基幹情報システム」の両方を1社で手掛ける外食専門の情報システム・サービス会社で、ロス削減による最大利益確保とコストパフォーマンスにおきましては、29年に亘り高い評価をいただいております。これからも謙虚さと誠実さを忘れず、お客様の声を第一に、外食業界の情報システムインフラになるよう、製品・サービスの向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしてゆく所存でございます。

今後とも一層のご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

製品

26年前、あっという間に業界ベストセラーとなった「飲食店経営管理システム®」を本格リリース
世界初で、外食チェーンシステムの本質を追求した「自動発注システム」を搭載
豊富なオプションシステム群で、“食”産業全体の問題解決に威力を発揮します。

外食基幹業務の国内基準システム

29年前、国内で初めて外食企業のシステム体系を確立。一大ブームに

●豊富なオプションと 適用業種

和洋中のレストラン、居酒屋は
もちろん、弁当／仕出業、事業
所給食、学校・病院給食など、
各“食”企業のあらゆる業態に
対応します。

CK・物流センターなどの、製
造／加工品ロス追求システムも
搭載（物流仕様版）。
トリミング・トレーサビリティ
機能も標準搭載。



2016年7月
世界初の「自動発注」機能を、
運用サービスとしてお受けできる
サービスを提供開始いたしました。

◆豊富なオプションシリーズも、順次出荷を開始しています◆



飲食業専用マニュアル
／テンプレート集
これひとつで飲食業開
業のすべてのマニュアル
管理テンプレートが揃
います



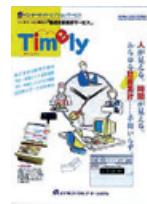
給食・仕出／弁当業
支援システム
栄養素と原価／アレル
ゲンを確認しながら
楽々献立作成。発注も
連動します



ホテル旅館フード
コントロールシステム
ホテル特有の用度庫の
在庫管理が難しくでき
ます



回転寿司支援システム
100円均一皿のお店で
も難なく単品管理がで
きます

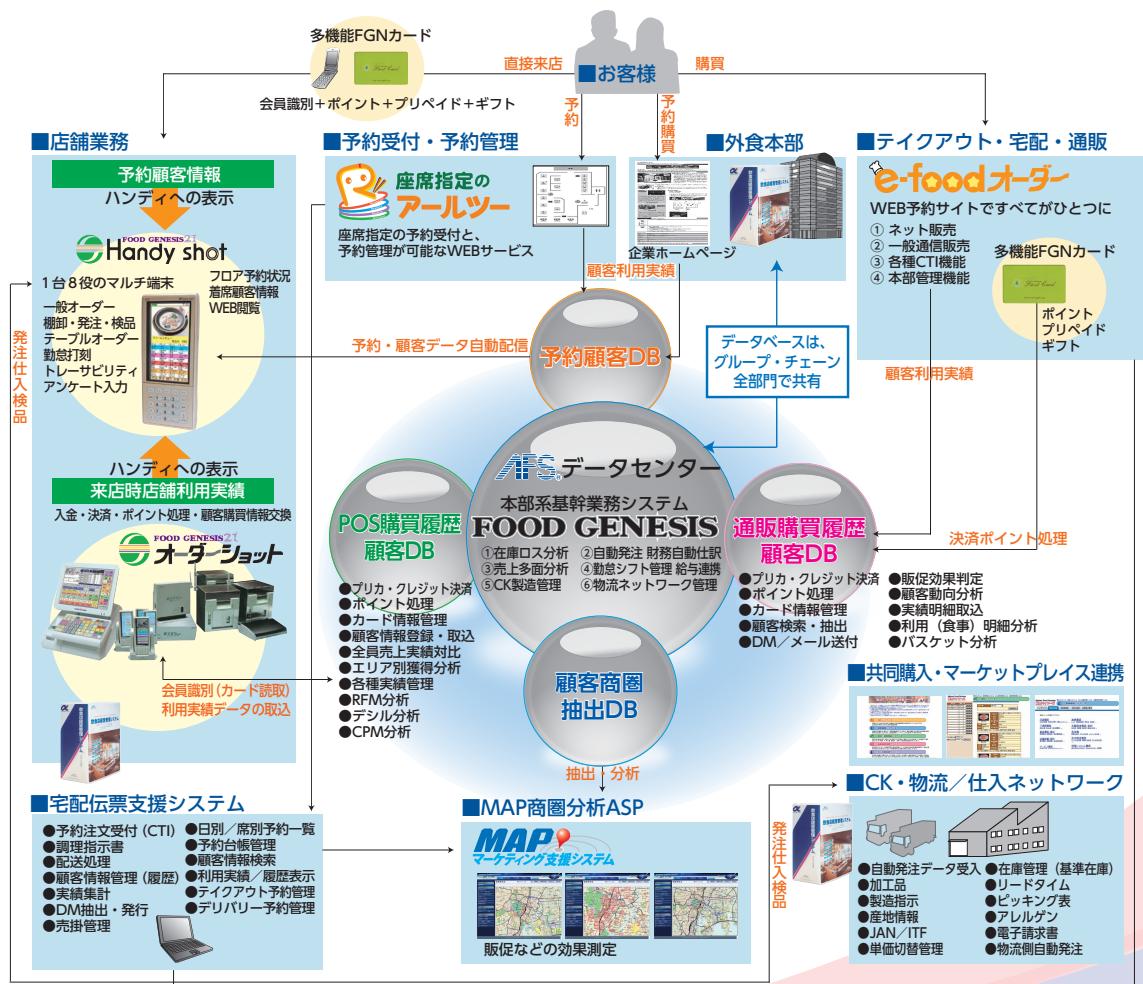


勤怠集計管理システム
国内で最も早く発表し
実績抜群のシフトシ
ステムです



店舗棚卸数量
集計システム
自動発注の要となるの
が正確な棚卸把握。当
社だけのノウハウ満載
端末です

「FOOD GENESIS」は、店舗システム機器から基幹業務／周辺サービスまでを1社で手掛けるAFS®ならではの、ASP／クラウド型のDB統一元管理サービスです。「飲食店経営管理システム®」との融合も進捗し、更にきめ細かいニーズに対応できるようになりました。

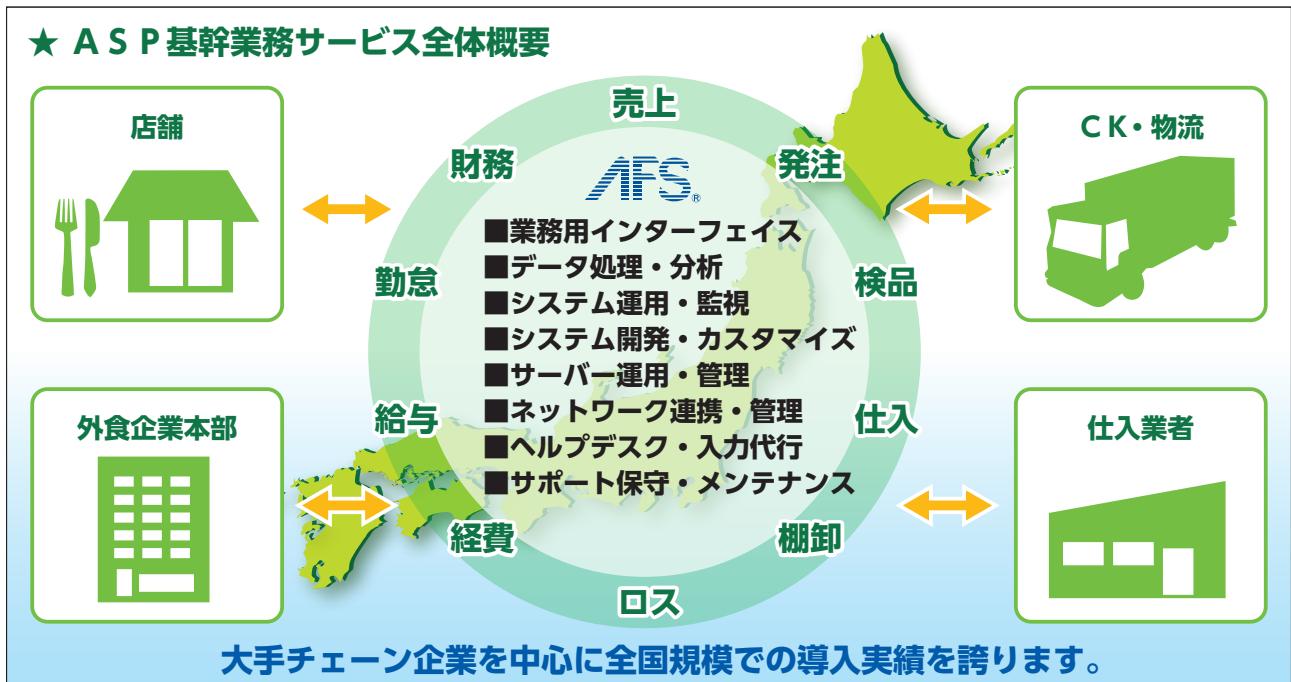


AFS[®]のASP/クラウド型基幹業務サービスはお陰様で、2016年度にも 外食向け統合業務管理システムに於いて、3年連続**シェアNO.1***となりました。

*富士キメラ総研 業種別ITソリューション市場2016年版より

大手外食チェーン企業にとって、二大原価（食材／人件費）削減から本来あるべき利益を確保していくことは最重要課題であり、店舗展開を行なう上で、その重要度は更に増してまいります。しかし、これを実現することは極めて困難で、店舗、本部、CK、複数の外部取引先とのシステム完全連動に加え、異業態の混在や、業務サイクル、コンプライアンス、オペレーションの徹底等、様々な課題をクリアしなければなりません。

このような多岐に亘る課題、複雑なシステム構築においてもすべてAFS 1社のみで手掛け、ロス削減による最大利益確保を実現できることが当社の強みであり、他社が追従できない所以です。



事業の概況

経営成績

売上高		2.3%UP
第22期	第23期	
2,204 百万円	2,255 百万円	

営業利益		204.0%UP
第22期	第23期	
63 百万円	191 百万円	

経常利益		208.5%UP
第22期	第23期	
52 百万円	163 百万円	

当期純利益		163.7%UP
第22期	第23期	
48 百万円	127 百万円	

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景として、企業収益にある一定の改善傾向が見られたものの、円高傾向が続く中で、中国の景気減速懸念や、英国のEU離脱を巡る問題など、不安定な要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社の主要販売先である外食市場におきましては、根強い節約志向による個人消費の伸び悩みや、食材価格の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向などにより、当社の事業領域において、依然として厳しい状況が続いております。

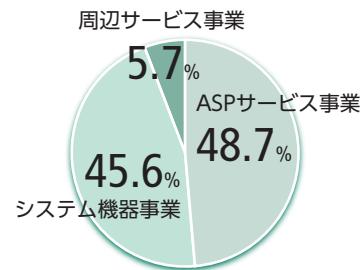
このような環境のもと、当社は、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービスを核としたPOSシステム、オーダーリングシステムなど、トータルソリューションシステムを提供してまいりました。また、前事業年度に再販を開始したパッケージ型の基幹業務システムである「飲食店経営管理システム®」は、これまでフォローできていなかった規模の業態店舗の中食・仕出し、弁当及び給食事業者にも販売先が拡大いたしました。

その結果、売上高は、2,255,622千円（前事業年度比2.3%増）と堅調に推移しました。利益面に関しましては、

当初計画の数字には届かなかったものの、営業利益191,761千円（前事業年度比204.0%増）、経常利益163,361千円（前事業年度比208.5%増）、当期純利益127,283千円（前事業年度比163.7%増）の大幅な増益となりました。

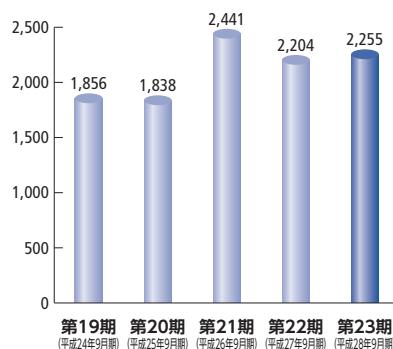
システム機器事業の売上高が1,028,132千円（前事業年度比3.9%減）と減少したものの、ASPサービス事業において、売上高が1,099,431千円（前事業年度比10.3%増）と、大幅に伸びたことが寄与したものであります。

事業別売上高構成比率（第23期）



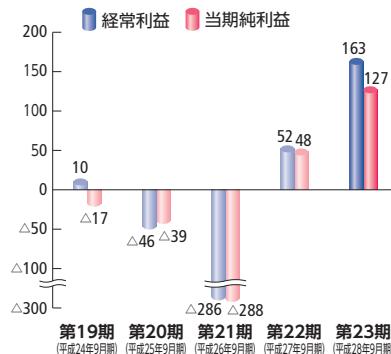
売上高

(単位：百万円)



経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度 (平成28年9月30日現在)	前事業年度 (平成27年9月30日現在)	科 目	当事業年度 (平成28年9月30日現在)	前事業年度 (平成27年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,035,769	1,021,275	流動負債	1,022,702	996,032
現金及び預金	276,249	340,034	買掛金	169,907	176,975
売掛金	263,850	212,377	短期借入金	583,000	611,000
商品	389,703	375,428	1年内償還予定の社債	14,000	24,000
貯蔵品	25,185	23,168	1年内返済予定の長期借入金	79,200	50,400
前渡金	13,487	15,120	リース債務	3,772	—
前払費用	20,871	20,392	未払金	24,575	31,820
繰延税金資産	35,272	35,451	未払費用	10,536	9,757
未収入金	6,480	4,742	未払法人税等	37,006	8,353
その他	12,831	964	預り金	9,197	8,659
貸倒引当金	△ 8,161	△ 6,403	前受金	50,253	52,329
固定資産	687,572	524,631	賞与引当金	18,909	16,251
有形固定資産	229,269	162,661	その他	22,342	6,484
建物	6,282	7,660	固定負債	132,194	108,903
工具、器具及び備品	33,252	57,192	社債	7,000	21,000
土地	20,429	20,429	長期借入金	79,800	66,000
リース資産	15,428	—	リース債務	13,204	—
建設仮勘定	153,876	77,380	退職給付引当金	32,190	21,903
無形固定資産	240,509	141,513	負債合計	1,154,897	1,104,935
ソフトウェア	91,677	81,834	純資産の部		
ソフトウェア仮勘定	146,387	57,234	株主資本	568,682	441,398
電話加入権	2,445	2,445	資本金	537,862	537,862
投資その他の資産	217,793	220,455	資本剰余金	143,599	143,599
出資金	132	139	利益剰余金	135,506	8,223
長期前払費用	142,377	147,722	自己株式	△ 248,286	△ 248,286
敷金及び保証金	19,326	19,326	評価・換算差額等	△ 3	67
繰延税金資産	24,618	22,377	その他有価証券評価差額金	△ 3	67
長期未収入金	63,565	74,321	純資産合計	568,678	441,465
その他	10,450	10,308	負債純資産合計	1,723,575	1,546,401
貸倒引当金	△ 42,676	△ 53,740			
繰延資産	232	494			
社債発行費	232	494			
資産合計	1,723,575	1,546,401			

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで)	(平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	2,255,622	2,204,200
売上原価	1,494,992	1,511,577
売上総利益	760,629	692,622
販売費及び一般管理費	568,867	629,532
営業利益	191,761	63,089
営業外収益	713	1,974
営業外費用	29,113	12,108
経常利益	163,361	52,956
特別損失	2,162	2,119
税引前当期純利益	161,198	50,836
法人税、住民税及び事業税	35,944	6,645
法人税等調整額	△ 2,029	△ 4,073
法人税等合計	33,915	2,572
当期純利益	127,283	48,264

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成27年10月1日から 平成28年9月30日まで)	(平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	176,357	94,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 234,855	△ 138,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,286	△ 108,841
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 69,784	△ 153,334
現金及び現金同等物の期首残高	299,534	452,868
現金及び現金同等物の期末残高	229,749	299,534

株主資本等変動計算書

当事業年度 (平成27年10月1日から平成28年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成27年10月1日 残高	537,862	143,599	143,599	8,223	8,223	△ 248,286	441,398	67	67	441,465	
事業年度中の変動額											
当期純利益				127,283	127,283		127,283			127,283	
自己株式の取得											
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)								△ 71	△ 71	△ 71	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	127,283	127,283	—	127,283	△ 71	△ 71	127,212	
平成28年9月30日 残高	537,862	143,599	143,599	135,506	135,506	△ 248,286	568,682	△ 3	△ 3	568,678	

会社概要・株式の状況

■会社概要 (平成28年9月30日現在)

社名	株式会社アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億3,786万2,408円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種インターネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地 TEL(0836)39-5151(代表) FAX(0836)39-6448
データセンター	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目14番30号
従業員数	103名

■役員一覧 (平成28年12月27日現在)

代表取締役社長	田村隆盛
取締役	栃木伸二郎
取締役	片岡久議
常勤監査役	富金原祐輔
監査役	阿部妙子
監査役	後藤登

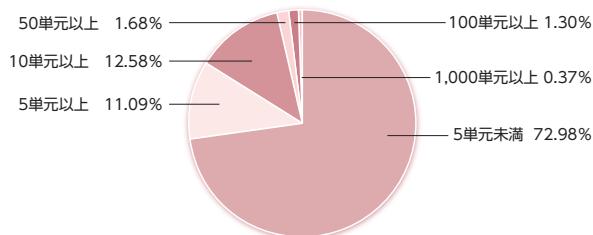
■株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	9,170,400株
発行済株式の総数	2,513,800株
株主数	1,073名
大株主	

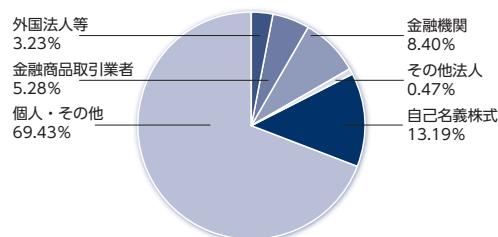
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	1,135,400	52.0
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	199,300	9.1
鎌田英哉	51,300	2.4
楽天証券株式会社	30,800	1.4
株式会社SBI証券	29,200	1.3
J.P.Morgan Securities plc	21,800	1.0
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	16,800	0.8
田村隆次	16,400	0.8
河原滋	15,900	0.7
田村清隆	15,000	0.7

(注) 1. 当社は、自己株式を331,583株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には、株式給付信託(J-ESOP)の導入に伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式を含んでおりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有株式数別株主数比率



■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

全国の外食産業 7,115[※]店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



FOOD GENESIS 21
Handy shot

複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

入力端末となる「ハンディショット」は、1台8役（一般オーダー、棚卸、発注、検品、テーブルオーダー、勤怠打刻、トレーサビリティ、アンケート入力）をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD GENESIS 21
オーダーショット

「オーダーショット」は、マルチ多機能端末「ハンディショット」をはじめ、店舗でのオーダー業務に最も重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性という基本性能を従来のもより飛躍的にレベルアップさせ、オーダーエントリーシステムの新時代を切り拓きました。これからも「オーダーショット」は、新しい可能性の追求と共により一層、製品の充実を図ってまいります。

業界初の縦置き横置き兼用で、ファミレスからファーストフードまであらゆる業態に対応!

20年以上に亘るPOSシステムのノウハウが結集した最新型フードビジネス専用PC-POSシステムです。

FOOD & 5000



FOOD GENESIS 21
テーブルショット



人件費を抑え、オーダー効率を上げるフードサービス専用のテーブルオーダーシステム。大手回転寿司からファミリーレストラン、焼肉店、居酒屋など、幅広く導入されています。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 上記基準日	事業年度終了後3カ月以内 9月30日
剰余金の配当基準日	毎年9月30日及び中間配当の支払いを行なう時は3月31日
株主名簿管理人 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告により行ないます。 公告掲載URL http://www.afs.co.jp/ (但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行ないます。)

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する
ホームページを開設しています。
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、様々な情報を提供しています。



株式会社
ALPHA.FS CO., LTD®

—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——
アルファクス・フード・システム

〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地
TEL(0836)39-5151(代表) FAX(0836)39-6448



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。